

シーメンスヘルスケアのフォトンカウンティング CT「NAEOTOM Alpha」が、岡山大学病院にて稼働開始。循環器分野における貢献を目指す。

- 西日本で初となる「NAEOTOM Alpha」導入、国立大学病院としても初
- フォトンカウンティング CT による高精細・低被ばく・スペクトル解析の特性を活かし、循環器・小児循環器分野において、より安全・最適な医療の実現に貢献
- 「NAEOTOM Alpha」を活用いただくことで、国際的に最高水準の医療環境の提供を目指す岡山大学病院をサポート

シーメンスヘルスケア株式会社（東京都品川区、代表取締役社長: 森 秀顕、以下 シーメンスヘルスケア）は、フォトンカウンティング検出器を搭載した次世代 CT「NAEOTOM Alpha（ネオトム アルファ）」の国内 4 台目の導入が、岡山大学病院となりましたことをご知らせいたします。西日本で初めての導入となり、国立大学病院への導入としても国内初となります。

「NAEOTOM Alpha」を導入いただくことにより、幅広い年代の患者さんへ、精密な検査・診断による、高度で最適な医療を提供し、社会・地域の持続的な健康増進へのさらなる貢献が期待されます。尚、岡山大学病院では本製品を使用した診断を 2022 年 12 月 5 日より開始予定です。

「NAEOTOM Alpha」は、Siemens Healthineers AG（ドイツ・エアランゲン）が、半導体メーカーである株式会社アクロラド（沖縄県うるま市、代表取締役社長：大野 良一）と 15 年にも及ぶ研究開発の末、実用化されました。急速な少子高齢化に伴う疾病構造の変化や、医療技術の進歩と高度化が進む日本の医療環境において、病気の早期発見や正確な診断、患者さんの負担軽減などへの貢献が期待されています。



販売名 ネオトム Alpha 「NAEOTOM Alpha」
(認証番号：304AIBZX00004000)

岡山大学病院は、1870（明治 3）年の岡山藩医学館大病院が開設して以来 150 年を超える長い歴史をもち、「高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人材を育て、社会・地域の持続的な健康増進に貢献する」という理念のもと、患者さんに最適な医療を届けています。この度の導入は、「NAEOTOM Alpha」の「Dual Source CT（2 つの X 線管と検出器を搭載した CT）」「被ばく線量の低減」という特徴が大きな有用性を発揮

することが求められ、実現されました。岡山大学病院が力を入れる循環器・小児循環器分野において、フォトンカウンティング CT「NAEOTOM Alpha」が、地域の患者さんへ迅速で安全な治療を提供する一助となることが期待されています。

岡山大学病院 放射線科 平木 隆夫教授は、「革新的な検出器の技術は、従来の CT 装置の欠点である放射線による被ばくの低減をはじめ、より精細な CT 画像の短時間での撮影、さらに検査で使用する造影剤量の低減など多くのメリットが期待されています。この性能を最大限に活用し、患者さんにより高度で優しい医療の提供につなげ、また、この CT 装置を用いて様々な研究を行い、医療の発展にも貢献したいと思っています。」と述べています。



「NAEOTOM Alpha」で撮影した頭部と腹部の高精細画像 エラスムスメディカルセンター 提供

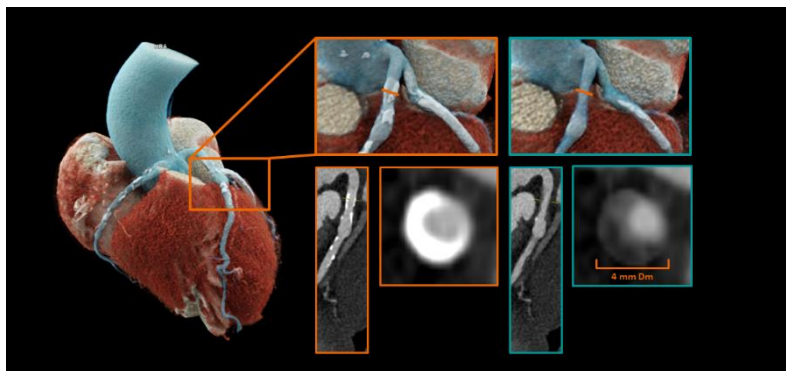
シーメンスヘルスケア ダイアグノスティックイメージング事業本部長兼営業統括本部長 桜井 悟郎は、以下のように述べています。「国際的に最高水準の医療環境の提供を目指されている岡山大学病院様に NAEOTOM Alpha の導入を決定いただきましたことを大変光栄に思います。本製品は循環器領域で数多くの実績がある『Dual Source CT』をベースとし、さらにこれまで以上の『被ばく線量の低減』が可能になるため、特に拍動を伴う心臓を捉えることや、より低侵襲な検査が求められる小児領域において、岡山大学病院様の臨床と研究の両面で大きな貢献ができると考えております。2022年11月27日～12月1日にかけて、アメリカシカゴで開催されている第108回北米放射線学会（RSNA 2022）でも NAEOTOM Alpha に関する非常に多くの発表が登録され、改めて注目度の高さを感じております。」

シーメンスヘルスケアは、画像診断にブレークスルーをもたらすことが期待される「NAEOTOM Alpha」を通して、日本の医療従事者の方々と共に、日本の CT 装置の活躍の場を拡げ、ひとりでも多くの患者さんや検査を受ける方々が質の高い医療へアクセスできるよう引き続き取り組んでまいります。

■ 「NAEOTOM Alpha」 について

本製品は、Siemens Healthineers がアクロラドとともに開発した「フォトンカウンティング検出器」を搭載しております。主に被ばくを低減しつつ高分解能な画像を臨床利用できるという点で、従来の CT 装置から大きなイノベーションを果たしました。

フォトンカウンティング検出器は、従来の検出器のように X 線光子を可視光に変換するのではなく、各 X 線光子とそのエネルギーレベルを直接検出するため、より少ない放射線量で高解像かつ有用なデータを提供することができます。また、被ばくを抑えることができるため、患者さんや検査を受ける方の負担を減らしつつ正確で包括的な検査が可能となります。その応用範囲は、腫瘍や心臓の診断から肺のフォローアップ検査まで、幅広く多岐にわたります。



「NAEOTOM Alpha」で撮影した心臓における石灰化除去 サウスカロライナ医科大学 提供

本製品に関する情報は、ホームページの製品紹介ページをご覧ください。

URL: www.siemens-healthineers.com/jp/computed-tomography/photon-counting-ct-scanner/naeotom-alpha

■ 岡山大学病院について

岡山大学病院は、「高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人材を育て、社会・地域の持続的な健康増進に貢献する」を理念とし、患者さんに最良な医療を届けていきたいと考えています。ロボット支援下手術や IVR などの低侵襲医療、臓器移植や高難度手術、集学的がん治療などの高度先進医療の提供を続け、今後は、さらにこれからの発展が期待される免疫療法やゲノム医療も強力に推し進めていきます。また、日本発の革新的医薬品・医療機器の開発などに必要となる質の高い臨床研究を推進するため、国際水準の臨床研究や医師主導治験の中心的役割を担う「臨床研究中核病院」として、基礎研究から実際の患者さんの治療まで届く研究を続ける「橋渡し研究支援拠点病院」として産学官連携事業を推進し、分野を横断した研究環境から革新的な医療を生み出すことを通じて、社会・地域の持続的な健康増進に貢献していきます。

報道機関からのお問い合わせ先

シーメンスヘルスケア株式会社

コミュニケーション部 丹野

Email : yukari.tanno@siemens-healthineers.com

<広報代理>

株式会社プラップジャパン

担当：手川・大内・相良

Email : pr.siemens_healthcare@prap.co.jp

Siemens Healthineers について

Siemens Healthineers は、2016 年にシーメンス AG より独立経営となったヘルスケア事業の新ブランド名です。

Siemens Healthineers AG はドイツ・エアランゲンを本拠とし、世界 70 カ国以上に拠点を置くメドテックカンパニーです。「We pioneer breakthroughs in healthcare. For everyone. Everywhere. ヘルスケアをその先へ。すべての人々へ。」という Purposeのもと、次世代医用技術において重要性を増す AI 搭載のアプリケーションやデジタル製品を提供するなど、診断・治療を目的とした製品及びサービスのポートフォリオを継続的に発展させています。これらの新しいアプリケーションは、画像診断や検体検査から、画像ガイド下治療や革新的ながん医療に至るまで、当社の基盤を強化するものです。また、医療従事者が高品質で効率的なケアを提供できるよう、デジタルヘルスケアサービスや病院経営に関するソリューションも積極的に拡充しています。

2021 年 10 月～2022 年 9 月末までの 2022 年度において、Siemens Healthineers の全世界の売上は約 217 億ユーロ、調整後 EBIT（利払・税引前当期純利益）は約 37 億ユーロ、社員数は約 6 万 9,500 人でした。詳しい情報はこちらをご覧ください。

グローバルサイト : www.siemens-healthineers.com

日本のサイト : www.siemens-healthineers.com/jp/